



「福井市の地域や経済の活性化に繋がる新事業（商品・サービス）の提案」

【目的と概要】

本学と2017年に連携協力に関する協定を締結している福井市では、2024年に北陸新幹線福井開業をチャンスととらえ、このチャンスを利用し、観光による交流人口の増大が大きな課題となっている。

そこで、野沢ゼミでは、ゼミナールの専門的な学修（マーケティングとデータ分析）と培ってきたリーダーシップスキルを実践に移すべく、観光客のニーズや観光客を増やすための本質的課題を明確にし、その課題を解決するための具体的な施策を学生ならではの発想を含めて提案することとした。今年度は、3年ゼミ生が三つのチームに分かれ、福井市が喫緊の課題に挙げる「越前海岸エリア（越前水仙の里公園を含む）」の観光客増大の施策に取り組んだ。

【提案内容】



提案コンセプト「幸せの夕陽」

なぜ夕陽なのか？

- ①越前海岸ならではの風景！
 - ・越前海岸ならではの岩の多い海岸風景が場所によって表情を変える
 - ・季節によって変化するため何度見ても飽きない
 - ・海と山が近いため反対側には山々が広がる
 - ▶**リピーター獲得**が期待できる
- ②ローコストで始められる！
 - ・元々持っている観光資源を活用するための費用を抑えられる
- ③手軽で魅力が伝わりやすい！
 - ・越前海岸どこからでも見れる
 - ・どんな年代の人でも楽しめる

いつでも楽しめて独自性のある観光地をつくる！

「夕陽マップ」の内容

- 三田サントビーズ 「水平線の夕陽が見たい！」 海水浴・温泉も楽しめる
- 龍崎 「夕陽を見ながら絶景を見たい！」 沖合100mの無人島
- 新島 「大迫力の夕陽が見たい！」 絶景を見たい！ 徒歩道で渡る
- 福井県立IMTEMA 「くつろぎながら夕陽を見たい！」 オートバイの客室で非日常を味わえる

夕陽が見えるおすすめスポットをマップ上で紹介
 ・付近のカフェや宿泊施設なども掲載
 ・夕陽と合わせて越前海岸の魅力を知ってもらおう
 ・毎年更新



解決策：ウェディングフォト

◎実際の体験や福井の方々のヒアリングから

常に化する海の景色が1番魅力的 ▶越前海岸でしか見ることができない景色がある

- ▶ 他地域では味わえない、24時間・365日変化する海の景色
- ▶ 越前海岸の景勝地である越前岬や東尋坊の夕日は「日本の夕陽百選」にも選定されている
- ▶ 日本最大の水仙群生地でもある越前海岸では、12~1月にかけて雄々しい海岸線と可憐な水仙とのコラボレーションが見られる

福井の魅力詰まった写真を提供できるため足を運ぶ ⇒福井を知るきっかけに！

解決策：ウェディングフォト

Bridal land WAKASA 「ここは人生の記念日を祝福する場所」 (ホームページより)

- ・桂由美のブライダルファッションミュージアムドレス着用体験も行っている
- ・場所：福井県三方上中郡若狭町北前川16-16-1

「Bridal land WAKASAとの提携実現性」

- ①桂由美さんと共立女子大学の関係が深い
- ②福井県の誘客に繋がる
- ③新たな顧客獲得



コンセプト

コンセプト：**五感で楽しむ福井** (景色、水仙の香り、自然の音、美味しい料理、現地の人々との交流)

目的：**福井市をブランド化することで、他県との差別化、顧客満足度の向上を図る**

視覚 聴覚 嗅覚 味覚 触覚

おもいでなプロジェクトの概要

【おもいでなプロジェクト】

福井で「おもいでな」とは「幸せだな～思い出になるくらい嬉しいな～」という気持ちを表す言葉

STEP1 ドリンク販売 STEP2 キッチンカー STEP3 タウンオリエンテーリング

STEP 1 釣り人をターゲットとして簡易的なドリンク販売 STEP 2 観光客をターゲットに軽食の販売 STEP 3 越前海岸の魅力が伝わるタウンオリエンテーリング

【まとめと考察】

本プロジェクトでは、データ収集やその分析により本質的課題を捉えながら、現地調査を経て解決策を検討してきた。物事を客観的にとらえるためのRESAS（内閣府が提供する地域経済分析システム）、観光客のニーズや不満を明確にするためのペルソナ分析や共感マップは、なぜ越前海岸エリアを観光地として選択しないかという本質的な課題を明確にすることに役立った。また、夏に訪れた福井での現地調査では、机上では得られない越前海岸の魅力やすばらしさを肌で感じる事ができ、提案に大いに役立てることができた。1月の最終発表では、福井市の方々に加えて、日刊県民福井、福井新聞のメディアの方々も参加され、活発な議論ができた。

今回の地域連携プロジェクトを通じて、学生は社会課題を解決することの難しさを感じながらも、学修したことや身につけたスキルが社会課題を解決するのに役立てられたこと、チームで様々な困難を乗り越え最終提案に結び付けられた経験が得られたことで、学生自身の成長に大きく寄与できたと感じている。

【謝辞】

本プロジェクトを遂行するにあたり、福井市のおもてなし観光推進課の皆様大変お世話になりました。この場を借りて深く感謝申し上げます。また、社会連携センターをはじめ、学内の関係者の皆さまに多大なるご支援を賜りましたこと深く御礼申し上げます。